

獨協埼玉中学校 学校評価 第三者評価

学校評価の実施状況

年度の目標を定め、実行し、検証する学校評価の作業が丁寧に行われている。改善すべき点も認められるが、目標の設定も適切で評価できる。

シラバス・学習状況

シラバスの本来の用途を検討した上で、HPに掲載するだけでなく冊子にして各家庭に配布した方が良いのではないかと。

補習や講習など授業外の部分での生徒サポートを行っていることは評価できる。中学生は自主的に勉強するのがまだ無理な年齢なので、より高度な学習に取りくむためには、教員や保護者の積極的な関わりが重要であることを認識したプロセスを検討すると良いであろう。

安全の確保

安全に配慮していることが確認でき評価できる。さらなる生徒の安全確保のために日常における通学路の巡回等も検討すると良い。

メール連絡システムの導入にむけて検討が進んでいるようなので是非実施すべきである。

体験学習

体験を通じての学習に積極的に取り組み豊かな人間性を育てようとする姿勢は評価できる。さらにその実践に関するレポートやその効果についての検証をすすめると良いであろう。

授業アンケート

生徒と教員が一体となって授業の向上を目指している様子がうかがえる。工夫をしつつ今後も継続してもらいたい。

国際理解教育

自己評価では国際理解教育を独立させて目標設定を行っているが、「重点目標」1番の学習指導の目標の中に繰りこんでもよいのではないかと。学習指導と国際理解教育が同等の扱いでよいのか疑問である。

2学年で実施している全員参加の国内留学は評価できる。一方で自己評価の中でもあげられているように、交換留学の成果が該当する生徒のみではなく、より多くの生徒が積極的に参加できるようなあり方の検討をすると良いであろう。

手紙による交流や、インターネット・E-mailなどの新しい技術を利用しての国際交流なども検討する余地があるのではないかと。

平成22年7月8日（金）実施